



救急搬送体制として 日勤救急隊の導入を



Q 救急車の出場は8時から18時までの日中の出場が多く、約60分がこの時間帯に集中している。この状況に対応するために、これまでの24時間勤務の隊編成のほかに、平日の日中の時間帯だけを担当する日勤救急隊を導入してはどうか。救急体制の強化と救急隊員の負担軽減が図られる。また、24時間勤務が困難な職員も救急隊員として勤務できるため、職員の働き方の選択肢が広がるというメリットもあると考えるが、いかがか。

A 日勤救急隊を導入することについては、災害対応力の強化と救急隊員の負担軽減につながるため効果的である。しかし、救急隊員を増員しなければならないという課題があり、当面の導入は難しいものと考えている。救急隊員の増員については、今後の検討課題とし、市民の生命、身体、財産を守るため、日勤救急隊の導入による救急要請対応の強化を含め、激甚、多様化する災害に対して迅速に適切な対応ができるよう、消防力全体の強化を図っていく。